

# 家族看護論

単位数（時間数）：1 単位（15 時間） 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講時期：後期

科目責任者（職位・氏名）：准教授・下野純平

科目担当者（職位・氏名）：

---

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢  
看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：54

## ■ 授業概要

家族看護の定義や必要性および役割について教授し、様々な健康レベルにある家族の健康問題を理解するとともに、家族看護の諸理論（家族システム論、家族ストレス対処論、家族発達論等）を活用した家族を単位としたアセスメント技術および家族機能を高めるための援助方法の基礎が修得できるように教授する。

## ■ 到達目標

1. 家族看護の定義および必要性と役割について説明できる。
2. 家族のもつ機能および自分の家族観について説明できる。
3. 国内外の家族看護における諸理論を学び、一部活用できる。
4. 事例を用いて家族の健康問題についてアセスメントができる。
5. 家族機能を高めるための援助方法の特徴を説明できる。

## ■ 教育内容

基礎看護学、個人・家族・集団・組織の支援

## ■ キーワード

家族看護、家族機能、家族看護の役割、家族アセスメント

## ■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	家族および家族看護の定義・必要性和役割	家族および家族看護の定義・必要性和役割 (講義)	下野
2	家族の機能・家族観	家族のもつ機能 (講義) 自分の家族観の整理 (演習)	下野
3	家族看護の諸理論	①家族システム論 ②家族ストレス対処理論 ③家族発達理論等 (講義)	下野
4	エコマップ ジェノグラム 家族インタビュー	事例を用いたエコマップ・ジェノグラムの 書き方、家族インタビューの仕方 (講義・演習)	下野
5	家族アセスメント	家族アセスメントの方法 (講義) 家族アセスメントモデル ①カルガリー家族アセスメントモデル ②家族エンパワーメントアセスメントモデル ③渡辺式家族アセスメントモデル	下野
6	家族アセスメントの実際	事例を用いた家族アセスメント (事例展開演習・GW)	下野
7	家族のセルフケア機能と支援	事例を用いた家族のセルフケア機能を高 めるための支援方法 (講義・演習)	下野
8	家族看護学関連トピックス	①家族会の活動紹介 ②ファミリーハウスの活動紹介 ③日本家族看護学会・国際家族学会	下野

## ■ 履修条件

特になし

## ■ 成績評価方法

期末試験 80%、課題レポートの内容 20%

## ■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・試験のフィードバックは希望者に対して行う。試験終了後 2 週間以内に事前にアポイントを取ったうえで、科目責任者の研究室を訪ねること。
- ・提出された課題にはコメントを付して、返却する。

## ■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版
  - 22 巻 基礎看護学 ⑤ 臨床看護総論
  - 23 巻 地域・在宅看護論 ① 地域療養を支えるケア
  - 26 巻 成人看護学 ② 健康危機状況／セルフケアの再獲得
  - 30 巻 成人看護学 ⑥ 緩和ケア
  - 33 巻 小児看護学 ① 小児の発達と看護
  - 39 巻 精神看護学 ① 情緒発達と精神看護の基本

## ■ 参考書・参考資料等

- ・鈴木和子、渡辺裕子、佐藤律子編著（2019）『家族看護学 理論と実践 第 5 版』日本看護協会出版会
- ・法橋尚宏編著（2010）『新しい家族看護学 第 1 版 理論・実践・研究』メヂカルフレンド社

## ■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・授業前後の学習は授業にて指示する。
- ・授業 1 コマにつき、事前・事後学修それぞれ 90 分程度（計 180 分程度）必要とする。
- ・事前学習として、指定された範囲の教科書を通読すること。
- ・事後学習として、授業時配布資料と教科書を読み、内容が理解できているかどうかを確認すること。
- ・演習においては、配布資料をもとに事前事後の課題に取り組むこと。

## ■ 担当教員からのメッセージ

自分の家族観について事前にレポートを書きます。家族社会学についても学修を深めておくこと。看護の対象のなかで『家族』は重要な位置を占めています。各専門領域の看護学にも役立つ科目ですから、丁寧に学習を進めましょう。

## ■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

研究室 17、shimono★iwate-uhms.ac.jp、月曜日 13 時半から 17 時まで  
(※メールの際は★を@にしてください)

## ■ 担当教員の実務経験の有無

有

## ■ 担当教員の実務経験

看護師

## ■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

## ■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

## ■ 実務経験を活かした教育内容

病院での看護師業務の経験をいかし、家族看護論に関する専門的で実践的な講義を行っています。